

一般質問

成22年度は3億1千万円でした。処理費については奥州金ヶ崎事務組合への負担金、平成22年度は11億3千万円でした。ごみの減量化による経費の節減効果は、収集運搬についてはごみの量の多少による経費節減効果はありません。ごみ焼却処理時の光熱費やし尿処理時の薬剤費減少による経費節減はありません。また、環境基本計画の見直し時にサービス低下にならないことを前提に、ごみ集積所の数や収集回数についても検討します。

質問 市財政全体をみる時に、行財政改革は聖域なく取り組む必要があります。ごみの処理費については、ごみを出す量に応じて市民から一定の負担をしていただくこともやむを得ないのではないのでしょうか。ごみの有料化について検討する場を行財政改革との関係で準備できないか伺います。

市長 行財政改革は行政が徹底的に節約することが第1段階です。まずは最大限の努力をします。それでもさらなる行革が必要な場合には、第2段階として税や使用料の見直し等を考える時には、ごみの有料化もあり得ると思います。

質問 奥州市での生ごみの有効利用の実態について伺います。また、山形県長井市のレインボープラン

や金ヶ崎町のオーガニック金ヶ崎のように奥州市でも、地域を限定し、堆肥化センター等を活用し、生ごみのたい肥化に取り組んでみてはどうかと考えますが伺います。

市長 市ではごみ処理機の購入補助事業や段ボールコンポストの普及など堆肥として家庭菜園で利用していただくようにしています。ごみ処理機購入補助は昨年度までの5年間で328件ありました。堆肥化センター、民間処理業者等を活用しての生ごみ処理については、新たな収集経費や処理経費が発生することから難しいと思われますが、研究検討いたします。*6

アースラブ酵素による生ごみ処理等についても調査いたします。

***6 アースラブ酵素**：アースラブは、「アミノ酸20種類」と「特異的金属イオン15種類」を含有する酵素活性作用補助剤を、オガ粉に特殊配合した堆肥化用資材です。アースラブに含まれる「20種類のアミノ酸」と「15種類の特異的金属元素」は、処理対象有機物を分解する微生物群の自然発生を促進し、又それら微生物群の酵素活性を最大限に引き上げる能力を持っています。

処理対象有機物をアースラブで発酵（通性嫌気状態）させ、高効率で分解を促進し、大幅減容を行う堆肥化の処理方法です。



防災訓練に取り組む真城堤尻自治会

質問 先週奥州市の放射線量が発表されました。一時間当たり0・2マイクロシーベルトという値は微妙に高い数値だと思います。震災以前のレベルに戻るのには、*7半減期から計算すると百年以上かかることになります。このような生活環境が長く続くわけです、特に食物等から体内に取り込むことに



おさむ 宮 三ノさん

○放射能による健康被害等の対策について
○コミュニティと自主防災組織について

よる内部被曝が問題となります。ベクレルモニター等の食物・水等の線量を計測する機器の購入は予定しているのか伺います。

***7 半減期**：放射性物質が放射線を出す能力（放射能）が元の半分になるまでの期間のこと。時間が経つと放射能が弱まり、半減期で元の半分になる。さらに時間が経つと、半減期ごとに放射線の量が2分の1になっていく。放射性物質によって期間が大きく異なる。

市長 本格的な検査装置を発注しておりますが、届くまで思ったより時間がかかります。今、対応していますのは専門の検査機関に依頼しての計測と、特にプールや土壌のサンプリングを行いその結果を報告いただくこととしています。指摘いただいた機器については、購入した方がいいのか、業者に依頼した方がいいのか検討し、より正確数値がわかるものとして対応して参ります。

質問 自主防災組織が震災を経験して問題となった事などの検証はされたのでしょうか。また今後の市の推進策を伺います。

市長 市内のいくつか防災組織に聞き取り調査を行いましたところ発生直後に地区内の見回りや、一人暮らしの高齢者の安否確認を